

# 編集後記

春になるとよく夢を見る。花粉症で悩まされているためか、闇のなかで息苦しくなると深い眠りから抜け出すことを強要されて、しかしまだ眠っていたいという気持ちからか、眠りと目覚めの境を彷徨う状態になり夢を見るらしい。春の夢は美しい夢が多い。現実の息苦しさをのがれるための精神の浄化作用がもたらすものか、昨日も美しい夢をみた。

ヨーロッパ、中世の人々が伝えた話にも、美しい話が少なくない。美しい心を持った若い女性が人の醜い姿を変え、自分をも幸せにするという話である。「美女と野獣」、「ハリネズミとハンス」などがそれである。現実の厳しさが美しい物語を生み、伝えたという解釈もできなくもない。

総合教育センターは、一般教養科目、外国語科目と教職課程を所管する組織で、先生方は、常勤、非常勤あわせて二百人近い大所帯となる。多士済々、研究テーマも範囲も広い。組織ができてから日は浅く、これからという組織である。大学をめぐる環境は厳しいと繰り返し報じられている。総合教育センターをとりまく環境も同様である。厳しい環境のなかであるが切磋琢磨して、これからも優れた論文をお届けできるように努めたい。

(大串夏身)

編集委員 栗原 草子

学苑 七百七十五号

定価 八四〇円(本体八〇〇円)

購読料 一カ年分 九二四〇円

(本体 八八〇〇円)

平成十七年 四月二十日 印刷

平成十七年 五月 一日 発行

編集発行人 竹 田 喜美子

印刷所 勝 田 印刷

発行所 昭和女子大学

近代文化研究所

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂一ノ七

電話 〇三(三四一一)五三〇〇

☆掲載論文の無断転載を禁じます。